

5月くるみぐみだより

担当：村本 美穂

さわやかな5月の風は、子どもたちを外へ外へと誘い出します。心地よい青空の下、園庭で楽しく過ごしていきたいと思っています。また、気候のよい時期なので、散歩などを通していろいろなものに出会い、発見したり感動しながら、保育者と共感する中で、お兄ちゃん・お姉ちゃんとの関わりも大切にしていきたいと思っています。

5月の行事予定

- ・9日(木) 火災訓練
- ・11日(土) 親子触れ合い交流会
- ・17日(金) 交通訓練・食育
- ・24日(金) お楽しみ会
- ・29日(水) 遠足(お弁当の日)

5月の歌

- ・こいのぼり ・つばめ
- ・ありさんのおはなし
- ・ことりのうた

わらべうた

- ・おおかぜこい
- ・あしあしあひる
- ・にぎりばっちり
- ・ちゅっちゅこっことまれ

5月の絵本

- ・ぱくり・おくちはどこ・がたんごとんがたんごとん
- ・かたかたぴよんぴよん・あっぷっぷ・いないいないばあ

5月生まれのお友だち

早田 りん君(5日生まれ)



ハイハイよりも歩くことの方が多くなりました。興味のあるものを見つけると「アッ、ダダダ」と伝えようしたり、手で触ってみたいしながら探索活動を楽しんでいます。いつでもここに笑顔がとっても素敵なりん君です。お誕生日おめでとうございます！

◇運動

保育園の周りには、花畑がたくさんあり、クローバー畑、れんげそうと、たくさんの花が咲いています。0歳児クラスの子も達にとって一年中でいちばん過ごしやすい季節です。早速子どもたちと速散歩に出かけました。



こいのぼりやタンポポの歌を口ずさんだり、「いいお天気だね」「風が気持ちいいね」と話しながらゆっくり散歩を楽しみました。お花が咲いているので、「お花咲いてるね」「きれいね」と見せてあげると、心をひかれ目を向け手を伸ばしたりしていました。

ベビーカーに乗り気持ちいい風が吹くと思わずにっこりほほ笑むりん君。犬の鳴き声が聞こえると、身を乗り出して探すかける君。な

のさん、ななみさんも、周りの景色をしっかりと眺めていました。大人との関わりの中で、季節を感じ取らせてあげたいですね。

◇集団

人との関わりを身につけていくスタートともいえる0歳児クラス。食事のときの友達同士との位置関係によって、保育士が食べさせている様子を見て、自分も食べたいと意欲を高めたり、友だちの口をじっと見つめたりしています。隣に寝ている子と目が合ったり手が触れたりして、友だちの事を感じていきます。



ただ一緒にいれば、子どもに必要な集団になるわけではありません。お友だちを感じやすい位置や距離をちょっと考え、一緒にいることが心地いい存在として友だちを感じ、友だちの存在が自分もやりたいと意欲を高めることになる、そんな関係を大切にしていきたいと思えます。

◇言語・認識

自分の要求を眼差しで教えてくれたり、時には「あっ あー」「ぶふう」「あたたー」「んまんま」と発見したことを喃語で伝えようとしてくれます。子どもたちを見つめ、伝えようとしていることを受け止めて共感し、言葉で代弁出来るように心がけています。



*テレビについて

赤ちゃんはテレビにも目を向け、反応するようになってきます。模倣する力が出てくる時期ですから、テレビの画面が動くときを見て指さしたり、その働きによって自分の気持ちも動かし、時には身振りもし始めます。しかし、子供向けの番組やビデオだったらよいだろうと、安易に見せていると、いつの間にかテレビに吸い込まれていっているような受動的な関係になります。

テレビは、子どもの名前を呼んでくれたり、心を込めたことばかけやふさわしい働きかけはしてはくれません。一方的に画面を流すだけで〈自分の発見〉をさせてはくれないのです。また、「ワンワンは、どれ？」といった〈第三者〉を共有するための問いかけをしてくれませんが、「そうね」と共感をしてくれないのです。

特にこのころの子も達は、情緒や言語が発達していく大切な時期です。人間的な働きかけの大切さを忘れずにテレビの見せ方にも注意をしていきたいものですね。

◇絵本

『いないいないばあ』の絵本を読み聞かせしてきました。「ばあ」のフレーズで、保育士も「ばあ！」と口を開いて笑ってみせると、保育士の顔を見て笑います。絵本を、ぐっと近づけてあげると、視線も自然に引き寄せられ、絵を指さすと視線がそ



こにいき、絵を見て笑ったりもしていました。

この時期の子どもたちは、まだ、物のイメージと言葉が一致していないことのほうが多いと言われています。読み聞かせする大人は、絵本の内容を理解していないかもしれない。動くことが当たり前ということを前提に読み聞かせをして、場面や絵を指さして、興味を引いたり、声色を変えて興味を引き出すように読み聞かせをしていき、読み終わったら、絵本の中の面白そうな場面を再現してあそびます。

1歳前後の子どもたちは、大人の真似をしてあそぶ事が大好きなので大喜びで真似をしてくれるようになります。その繰り返しの中で子どもたちは、大人と関わることの楽しさを積み重ね、大人が大好きになり、同時に絵本も大好きになっていきます。

これからも、子どもたちの心の「旬」(発達に見合った時期)を大切にしながら絵本を選び、読み聞かせしていこうと思っています。

◇描画・造形 初めての製作～こいのぼり作り(手型とりに挑戦!)～

今月は、こいのぼり作りに挑戦しました。保育士に抱かれながら、スタンプ台の上に手をくっつけるとその感触に驚き手をしゅっとつぼめていました。「今から何をやるんだろう？」と、緊張気味の子も達。「ぺったんこ！」の掛け声とともに紙に手形を押ししました。押し後の手を見たり、手形を見たりしながら不思議そうな表情をしているのが印象的でした。出来上がりを部屋に飾ると、「アッ、アアア」と指さしをしたり、風にふかれて揺れるのをじっと見つめたりしていました。一人ひとり抱っこして、「これは〇〇ちゃんがぺったんして作ったね～」と、話すと手を伸ばしたり、触ってみたいしていました。お家にもぜひ飾っていただいて、風に揺れるこいのぼりを見ながら、「〇〇君が作ったの?」「こいのぼりさん泳いでるね～」と声を掛けてあげてくださいね。きっと手を伸ばしながら見てくるとおもいます！



◇生活 ●食事

スプーンを口元へ持っていくと、「あーん」と口を開けて、自ら身を乗り出し、意欲的に食べているななみさん。自分で口へ運べるようになったなのさん。スティック状にしたことで、一口をかじりとりて食べているかける君。かける君の食べる様子を見て、自分で持って食べようとしているりん君。一人ひとりの様子を給食の先生に伝えたり、見てもらったり、相談しながら移行の判断、食品の形態などその子に応じた調理内容にもらい離乳食を進めています。



6カ月頃からこの時期にかけての食品の与え方が、将来の好き嫌いの大きな分かれ目になると言われていますので、保育園ではいろんな食品、いろんな舌触りのものを、繰り返し食べさせています。また、コップを使って口を閉じて器から飲む練習もしていますので、ご家庭でも少しずつ挑戦してみてください。

●排泄

4月は、オマルに座る事に慣れることを目標にして排泄を進めてきました。その為、まだ、失敗してしまうことも多いのですが、焦らずゆっくりとりとタイミングをつかんでいきたいと思っています。



タイミングが合い、オマルでおしっこをすることが出来きた時は、「良かったね、おしっこ出たね、気持ちいいね」と喜ぶと、嬉しそうに笑っていたりん君、かける君です。

なのさんやななみさんは、オムツの交換を終えたら、保育士の親指を握らせ、赤ちゃんの両手首を支えながら赤ちゃんが起きようとする力を引き出すようにして引き起こしています。生活の中でも身体作りをしていきます。

●睡眠

保育士にも慣れ、安心して眠れるようになりました。保育園でのリズムも整い、機嫌良く1日を過ごせています。毎日、同じ場所で眠ることで安心して眠り、起きることが出来ています。自立起床する日、起こされて目覚める日とその時によって様々ですが、「おはよう、目が覚めたね」と声をかけて側にいることを伝えることで、途中で目が覚めても機嫌良く起きることが出来ています。

●身辺自立

排せつの後、食後の着替えの際は、「ズボンはいよ」「足あげてね、今度はこっちの足だよ」「お手で入れるよ」と一つ一つの動作に声をかけ、子ども達が着脱が楽しく安心して出来るように心がけています。



厚着にならないように日中は、長そでシャツの下は半そでの肌着でも大丈夫と思います(朝は少し冷えるので上着を着せられてください)。

◇音楽

毎日、季節の歌をリズムの中や散歩先、生活の中で歌っています。保育士が口ずさむことで、歌が身近なものとして、そして心地良いものとして位置づけられるように願っています。

◇健康

0歳児クラスは、成長・発達めざましく、個人差も大きいクラスです。周囲の環境の影響を受けやすくなります(季節、温度、光、音など)。また、自分で危険から身を守ることもできませんし、言葉で表現することも難しい子ども達なので、子ども達に関わるうえで、その時々々の全身状態(熱、食欲、機嫌、表情、動き、皮膚の色等)をみたり、いつもと違うことはないかの観察を大切にしています。ご家庭でも、朝の子どもの様子を見てあげてくださいね。

平成 25 年度 くるみ組 5月の目標

- ・食事、入眠の仕方など、家庭での様子を把握し、無理なく生活リズムが整うようにする。
- ・保育士との信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。

- ・清潔や安全に配慮し、落ち着いた雰囲気の中で周囲に関心をもつようにする。

領域	11ヶ月～	8ヶ月～
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンを手に持たせ、道具の認識を促していく ・自分で食べたい気持ちを大切に受けとめ、様子を見て介助し、充分たべらるようにしていく(子どもが意欲的に食べられるようスプーンは2本用意する) ・コップを使って飲む 	<ul style="list-style-type: none"> ・持って食べられる環境にしておく ・背中がしっかりしてくるので体に合ったイスに座らせる ・いただきます、ごちそうさまをする ・ミルクを飲むときに自分の出で持てるように手を添える
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の節目におまるに座る ・おまるを見せて子どもと一緒に確認していく ・日中はパンツで過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人座りができたら、おまるに座る ・こまめにオムツ、パンツを換え気持ちよさを知らせる
睡眠	<ul style="list-style-type: none"> ・2回睡眠。時間を一定させていく(午前睡 30分) ・起きている時間しっかりと遊びぐっすり気持ちよく眠れるようにしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・2回睡眠。時間を一定させていく(午前睡 60分) ・起きている時間しっかりと遊びぐっすり気持ちよく眠れるようにしていく
身辺自立	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉掛けをしながら、着脱を進める ・声を掛けながら少しづつ手を添わせていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉掛けをしながら、着脱を進める
言語認識	<ul style="list-style-type: none"> ・「マンマンマン、ナンナンナン、ダダダダ」など切れ目のない喃語を発する ・指さしを始め、自分の意志や要求を伝えようとする ・簡単な言葉を理解し言葉と動作の結びつきが分かりだす ・相手のしていることに興味を示し自分もしようとする ・他の子どもが持っているものに手を出したり、相手に物を渡す ・自分の名前を呼ばれるとわかる ・ちょうだい、どうぞの遊びが出来る ・物の出し入れを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アー、アウ、ブー、オッ」などの声を発する ・見つけた物や人を指さす「志向(心がある)の指さし」 ・大人の後追いをしたり、夜泣きがある ・叱られたことがわかるようになる ・バイバイをすると手を出して降るような仕草をするなど、「志向の模倣」が始まってくる ・物の感覚的特徴で選ぶ(音が出る、色がきれいなど)
運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイハイ、坐位、つかまり立ち、伝い歩きと姿勢を自由に切り替えられる ・深さ、距離、高さを知り始め、見通しが解りはじめる ・箱などを押して歩いたり、高這いで目標に向かって進む ・階段を四つ這い、高這いで昇り降りすることができ ・障害物を乗り越えて、好きな人や物のところへ近づける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ずり這いからつま先に力を入れて踏ん張り、お腹を持ち上げ、四つ這いで進むなど姿勢を変えて移動する ・一人で座れるようになり、座った姿勢でも両手が自由に使えるようになる
手指探索	<ul style="list-style-type: none"> ・両手に物を持って、正面で打ち合わせる ・小さい物を、親指と人差し指でつまむ ・容器に物を入れる、かぶせる、乗せる、合わせるなどできる ・鉛筆やペンを逆に持って打ち付けたり、左右の往復運動をして殴り書きができるようになる ・左右それぞれの手で2つの物を持つた上で、他者に渡せる 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体的な物を親指と中指の2本でつまむときに、人差し指が加わり、3本の指で物をつまむようになる ・手に持った物を正面で別の物に打ち付けたり、次の物をに打ち付けたりし始める ・自分から左右の手に1つずつ物を持つことができるようになる ・持っている物を自分から放す事ができるようになり、新たな物を探索する
絵本	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の時間を、大人も子どもも楽しむ ・絵本に興味を持ち、指差したり、真似したり、集中してみる(聞く力、言葉の獲得) 	
描画造形	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な素材で描くことを楽しむ ・季節にあった製作をする 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌を楽しむ ・赤ちゃん体操や動きに合わせて歌ったり、柔らかい声で静かに歌う ・子守唄、わらべうたも歌っていく 	
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりをつないでいけるようにしていく ・色んな場所、人との関わりを意識的に広げていく ・相手だけでなく、相手のしていることにも興味を示し模倣する 	
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・探索活動を保障し、安全に気を配る ・赤ちゃん体操をする ・外気浴 ・誤飲に注意する(直径3.5cm以下の物は置かない) ・環境整備 ・病気の時(発熱、下痢、嘔吐)の対応情報を伝える ・おもちゃや日用品の洗浄 	